

## 【総会報告】

## 2015 年学友会総会報告(京都)

副実行委員長 黒田 大悟(短大3 回生)



2015 年学友会総会は、初夏を思わせる天候の 5 月 30 日(土)、京都ホテルオークラにおいて、102 名の参加者のもと盛大に開催されました。

皿谷弘樹実行委員長(短2 回生)の司会で進められた総会では、藤田透副会長(45 回生)の開会の辞、神澤良明会長



(43 回生)の挨拶に始まり、学友会功労賞を故比嘉恒夫氏(29 回生)と矢野雅昭氏(45 回生)、感謝状を漢那憲聖氏(42 回生)、山内成身氏(47 回生)、山口和也氏(52 回生)、恒見有紀氏(短13 回生)にそれぞれ贈呈されました。議事は大澤啓次京都支部長(65 回生)を議長に選出し進められました。平成 25・26 年度の事業・決算・監査報告ならびに平成 27・28 年度の事業計画・予算(案)は満場一致で承認。続いて、桒藤眞純氏(43 回生)の学友会活動



実行委員長

への功績を称え名誉会員推戴が提案され満場一致で承認されました。次期選挙管理委員は、八木勝己氏(55 回生)堀井均氏(55 回生)山内聡氏(短3 回生)の3名の候補者が承認されました。池田正夫関東支部長(3 回生)の「母校の発展のために寄付を！」との呼びかけがあり、議事は終了しました。次期役員選出では、八木勝己選挙管理委員長(55 回生)から、会長候補に神澤現会長、監事候補に田中龍蔵氏(48 回生)、山口和也氏(52 回生)の届出が報告され、満場一致で信任されました。



感謝状贈呈

最後に、次同学友会総会(平成 29 年)が山陰支部で開催されることの報告があり閉会となりました。

総会に続いての講演会では、『映画「ブタがいた教室」の原作者が語る「いのちの教育」』と題して京都教育大学の黒



演者

田恭史先生にご講演いただきました。前回の福岡総会での講演が都合で叶わず、2 年越しの実現となったものです。映画の映像を交えながらの講演は、多くの卒業生が医療という現場で「いのち」を相手に仕事をしているなか、教育という別の視点から「いのち」について改めて考えさせられる興味深い内容でした。

懇親会は、副実行委員長の青木彰氏(短1 回生)と不肖私の司会の下で、皿谷実行委員長、遠藤啓吾名誉会長の挨拶で始まり、参加者最年長の小倉佐助氏(26 回生)の乾杯で開宴しました。途中、名誉会員へ推戴された桒藤氏、協賛 5 社(アイテック、島津製作所、住重試験検査、日本環境調査研究所、日本マジフィジックス)からの挨拶をはさみながら、会場内

は年齢の垣根を越えた和やかな雰囲気になっていました。会の終盤では、次期開催地の磯田康範山陰支部長(55 回生)から山陰総会へのお誘いがあり、西谷源展副会長(44 回生)の閉会の言葉にてお開きとなりました。



副実行委員長



今回の総会は、神澤会

長の強い意向で、今後の学友会を担っていく短期大学の卒業生が実行委員となり準備を進めました。しかしその荷は重く、神澤会長、西谷・藤田両副会長はじめ多くの本部役員の方々のご協力をいただき、何とか開催にこぎつけたというのが実情です。十分な準備や広報活動の不足からか、これまでの京都開催の総会に比べて参加者が少ない結果となり、改めてこれまでの運営に携わってこられた先輩方の連帯の力に気付かされました。

これからの学友会は、短大だけでなく大学の卒業生も含めて次代の会員の活躍が期待されています。これまでの

伝統を継承しつつ、更なる発展を期するためにも、若い会員のご参加・ご協力をよろしく願います。もちろんこれまで通り、先輩方のお力添えもお忘れなく……。

最後に、次期開催地の磯田山陰支部長、宮原善徳実行委員長(短3回生)、2017年総会をよろしく願います。そして会員の皆さま、2年後山陰の地でお会いしましょう！

以上

---

\* 通巻 216 号 2015 年 7 月 10 日発行(H27-No.2)より